



# 東風

OZONE

『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子  
○じょうぶな子

【めざす子ども像】

豊かな心で自ら学びたくましく生き抜く子



令和2年1月30日発行 第12号

## 「志高く自分の未来を描く」

岩内東小学校長 齊藤 信之

令和に入って初めて迎えた新年。いよいよオリンピック・パラリンピック開催の2020年の幕開けです。是非とも活気と希望にあふれる明るい一年となってほしいものです。

始業式の朝は、いつも以上に子どもたちの表情や挨拶が明るく元気に感じました。きっと冬休み中に心のエネルギーが十分に充電されたからでしょう。「あのね、家族でね…」と休み中の出来事を話してくれる声も弾んで聞こえました。何はともあれ、大きな事故なく元気に3学期のスタートを切れたことをうれしく思います。

始業式では、今の学年をしめくり次の学年のスタートへとつなげる3学期の意義について話しました。いつものように時折うなずきながら真剣に話を聞く子たちに、私から一つ提案をしました。3学期は「自分の周りの人を大切にする」ことに全校で取り組もうというものです。誰に対しても自分が言われて嫌なことは言わない、自分がされて嫌なことはしない。温かさと優しさあふれた岩内東小をみんなで作っていこう！いつも心に留めて過ごしていこう！との投げかけに、「ハイ！」と大きな声で心強い返事をしてくれた子どもたちでした。子どもたちも先生たちも、一緒になって取り組む大きな目標です。

例年になく雪の少ない冬に驚いていますが、いいことばかりではありません。ツルツル路面で転倒してしまうことも多く、登校途中にケガをしてしまった子もいました。また、条件の悪い中でのスキー学習となっています。2年生のグラウンドでの練習もままなりません。わざわざお弁当まで用意していただいたのスキー学習ですので、楽しく実り多いものと思いたいです。ほどほどの降雪が待ち望まれるところです。また、今年度も保護者や地域の方々にお手伝いをいただいています。お忙しい中、ご協力いただいている皆様に心から感謝いたします。

過日、6年生の子たちが、体験入学のため中学校へお邪魔しました。小学校とは違った雰囲気味わいながら、おおよそのイメージをつかむことができたのではないかと思います。また、保護者の皆さんには、岩内高校の校長先生からのお話もありました。中学を卒業する15歳、高校を卒業する18歳でのお子さんの姿を思い描き、これからの中学校での3年間の過ごし方を一緒に考えてあげてくださいとのことでした。

夢をつかむことというのは、一気にはできません。小さなことを一つ一つ積み重ねることで、いつの日にか大きな力を出せるようになっていくものだと思います。

学校教育の最終的な目的は、自立した社会人を育てることにあります。なかなか難しいことかもしれませんが、将来の自分の姿を思い描き、高い志や大きな夢をもってそこに向かう今を大切に過ごすことの重要性は、しっかりと伝えていかなければならないと思います。まだまだ先のことと思いがちですが、子どもの成長の中での3年、6年という歳月は、あっという間に過ぎ去ります。「なりたい自分(=夢・目標)」を思い描くこと、そこに向かう頑張りを積み重ねることを今一度、子どもたちと共有し、子どもたちの前向きな気持ちを今以上に育んでいきたいと思っています。6年生の旅立ちの日まで、あと50日。